

2026年2月19日

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会
バイパルタイト枠による出場選手の追加について

公益財団法人日本障害者スキー連盟
会長 椎名 茂

公益財団法人日本障害者スキー連盟は「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会選手推薦基本方針及び推薦基準」に基づき、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会バイパルタイト（特別）枠推薦選手を決定し、日本パラリンピック委員会（JPC）へ推薦しておりました。2月16日、国際パラリンピック委員会より、下記の選手に対してバイパルタイト枠が付与されたとの連絡を、日本パラリンピック委員会より受けましたのでご報告いたします。

（お問い合わせ） 公益財団法人日本障害者スキー連盟
内容に関する問い合わせ <https://jps-ski.com/contact>
取材申請 <https://jps-ski.com/interview>
広報担当 隅野 礼雄(090-1548-9671)

【選手のコメント】

ノルディック（クロスカントリー）

●岩本啓吾（土屋ホーム）

このたびミラノコルティナパラリンピック日本代表選手団に選出され、大変嬉しく身の締まる思いです。

今まで応援しててくれた方々に感謝したいと思います。

パラリンピックまでは少ししか時間がありませんがしっかり練習して本番を迎えることを思っています。引き続き応援をよろしくお願ひします。

●松土琴葉（北海道エネルギー）

ミラノコルティナパラリンピックへの出場が決定し嬉しいというよりもどこか安堵しています。しかしそれ以上に、自力で内定を取ることが叶わなかつたことが悔しいです。

ドイツ、ポーランドとレースを重ねて世界の壁の高さに圧倒されつつも自分の動きが良くなっていることを感じています。

残された日数は僅かですが、1秒でも速くなるために嶋田ガイドと準備をしていきます。テレビ中継もあるようなので、応援していただけたら嬉しいです。

●ガイド／嶋田悠二（九州大学）

国の代表として、大舞台で滑走する機会をいただけることを、光栄に思います。

ミラノ・コルティナ大会は、私たちにとって初めてのパラリンピックであり、大きな挑戦です。初めてペアを組んでレースに出場してから、まだ2シーズン目。荒削りで、急成長の途中にある中でこのチャンスを得ました。残された少ない時間の中でも歩みを緩めることなく、3月の本番へ向けてさらに実力を高めていきます。

●佐藤那奈（マザックメイト）

この度、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピックへの出場が決定し大変嬉しく思います。

本当に多くの方に支えていただき今の自分がいます。

自身初となるパラリンピックという大舞台で、記念参加で終わらないように実りあるものにしていきます。